

大型水槽を用いた淡水ワムシの大規模培養試験

福島県内水面水産試験場 生産技術部

1 部門名

水産業-内水面（増養殖）-内水面養殖業

2 担当者名

遠藤雅宗・佐々木恵一・佐藤太津真

3 要旨

コイなどの種苗生産において、餌となる淡水ワムシを仔魚に十分与えることが必要とされる。しかし、ワムシの培養は施肥により粗放的、経験的に行われてきただけで、人為的なコントロールが出来なかった。そこで安定的にワムシを培養するために100L、500L、1t規模水槽における増殖特性を確認した。各水槽に共通して、個体数が減少に転ずる10日から15日後に植継ぎが必要と考えられた。なお、今回生産したワムシは当场で実施中のアユ種苗生産に活用した。

- (1) 試験は500Lのアルテミアふ化槽（以後、500L水槽）及び1tパンライト水槽（以後、1t水槽）を用いて培養をし、25°Cの水槽中に休眠卵を投入した。培養開始から終了まで毎日午前中に1度、生クロレラを500L水槽には200ml、1t水槽には400ml投入した。
- (2) 500L、1t水槽とも、前年度に実施した100L水槽での培養と比較して低い密度で推移した。総個体数のピークは500L、1t水槽とも、100L水槽より多かったが、増殖効率は100L水槽と比較して悪かった。
- (3) 増殖率が悪かった原因として、エアレーション及び水流の強さや回し方、給餌方法、水質が考えられた。また各水槽に共通して、ワムシの個体数が減少に転ずる10日から15日後に植継ぎが必要と考えられた。

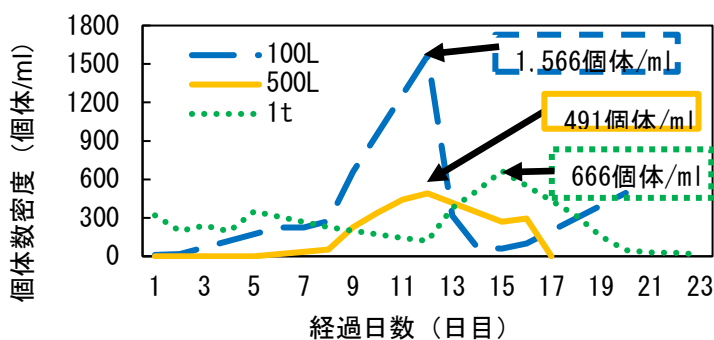


図1 淡水ワムシの個体数密度の推移

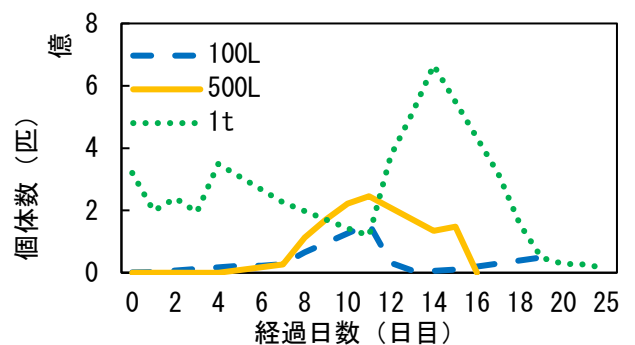


図2 淡水ワムシの個体数の推移

4 成果を得た課題名

- (1) 研究期間 平成28～令和2年度
- (2) 研究課題名 内水面養殖における高品質・省力化技術開発試験